

XXIV. ロシア連邦
(Russian Federation)

<目次 ～ロシア～>

第1章 市場環境の特徴.....	2
第2章 金融制度概要.....	3
1. 金融機関の種類.....	3
2. 監督官庁と指導體制.....	6
3. 預金保険制度の枠組み.....	8
4. 個人資産運用に関わる税制全体の中での預貯金税制.....	9
第3章 郵便貯金の概要.....	10
1. ポストバンクの沿革概要.....	10
2. 組織形態.....	10
(1) 経営形態.....	10
(2) 金融サービス提供の形態.....	11
(3) 窓口取扱時間.....	12
3. 主要なリテール業務内容.....	12
(1) 預金業務概要.....	12
(2) 資金運用業務.....	13
(3) 送金・決済業務概要.....	16
(4) クレジット商品取扱業務概要.....	18
4. 会計基準と財務諸表.....	20
第4章 金融セクターにおけるリテール金融機関の特徴.....	21
1. 金融セクターにおけるリテール金融機関の位置付け.....	21
(1) 預金残高の推移.....	21
(2) 資金の貸出等.....	23
2. 主要リテール銀行の特徴.....	23
(1) ポストバンク.....	23
(2) Sberbank(ロシア連邦貯蓄銀行).....	24
(3) VTBbank(VTB銀行).....	24
(4) AlfaBank(アルファ銀行).....	25
(5) Gazprombank(ガспロム銀行).....	26
(6) Russian Agricultural Bank(ロシア農業銀行).....	26
第5章 最近の金融動向と今後の展望最近の金融動向等.....	28
1. 最近の金融動向等.....	28
(1) マイクロファイナンスなどソーシャルファイナンスの現況等.....	28
(2) モバイルバンクの現況等.....	28
2. 今後のポストバンクの動向.....	29
<出所資料一覧>.....	32

＜略語集＞

略語	英語	日本語訳
BOR (ЦБРФ)	Central Bank of the Russian Federation (Центральный Банк Российской Федерации)	ロシア連邦中央銀行
BSD (ДБН)	Banking Supervision Department (Департамент Банковского Надзора)	銀行監督部
SOBS (СТБН)	Service for Ongoing Banking Supervision (Служба Текущего Банковского Надзора)	継続的銀行監督部
SIBSD (ДНСЗКО)	Systematically Important Banks Supervision Department (Департамент Надзора за Системно Значимыми Кредитными Организациями)	システム上重要な 銀行監督部
DIA (АСВ)	Deposit Insurance Agency of Russia (Агентство по Страхованию Вкладов)	ロシア預金保険公 社

第1章 市場環境の特徴

図表 1: ロシアの概要

分類	項目	
一般事情	面積	約1,710万平方キロメートル (日本の45倍, 米国の2倍近く) (出所: ロシア国家統計庁)
	人口	1億4,338万人 (2017年、IMF推計)
	首都	モスクワ
	民族	スラヴ民族 82.7% テュルク系 8.7% コーカサス系 3.7% ウラル系 1.6% 他 (2010年国勢調査より、言語による分類)
	言語	公用語: ロシア語 各共和国の公用語: タタール語、チェチェン語など26言語
	宗教	ロシア正教, イスラム教, 仏教, ユダヤ教等
	在留邦人数	2,650人 (2016年10月時点)
政治体制・内政	政体	共和制, 連邦制 (共和国や州等83の構成主体からなる連邦国家)
	元首	プーチン, ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ 大統領
	議会	ロシア連邦議会: 連邦院 (上院) と国家院 (下院) の二院制 (1) 連邦院 定数: 各連邦構成主体から2名ずつ 任期: 連邦構成主体首長及び議会ごとに異なるが概ね4~5年 (2) 国家院 定数: 450 任期5年 (小選挙区比例代表並立制)
	首相	メドヴェージェフ, ドミトリー・アナトリエヴィチ
	主要産業	鉱業 (石油, 天然ガス, 石炭, 金, ダイヤモンド等), 鉄鋼業, 機械工業, 化学工業, 繊維工業
経済	GDP	1兆4,693億ドル (2017年、IMF推計)
	1人あたりGDP	10,248ドル (2017年、IMF推計)
	実質GDP成長率	1.8% (2017年、IMF推計)
	通貨	ルーブル。1ドル=57.4ルーブル、1ルーブル=2.0円 (2017/12末現在)



(出所)IMF、外務省等を基に作成

図表 2: ロシアの主要経済指標

	単位	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
人口	万人	14,334	14,318	14,312	14,313	14,316	14,321	14,329	14,337	14,343	14,346	14,344	14,338
名目GDP	億ドル	10,636	13,965	17,845	13,137	16,385	20,517	22,103	22,971	20,637	13,659	12,832	14,693
1人あたりGDP(名目)	ドル	7,420	9,753	12,468	9,178	11,445	14,326	15,425	16,023	14,388	9,521	8,946	10,248
実質GDP成長率	%	8.2	8.5	5.2	-7.8	4.5	5.1	3.7	1.8	0.7	-2.8	-0.2	1.8
消費者物価上昇率	%	9.7	9.0	14.1	11.7	6.9	8.4	5.1	6.8	7.8	15.5	7.0	4.2
経常収支	GDP比%	8.7	5.2	5.8	3.8	4.1	4.7	3.2	1.5	2.8	5.0	2.0	2.8
財政収支	GDP比%	7.8	5.6	4.5	-5.9	-3.2	1.4	0.4	-1.2	-1.1	-3.4	-3.7	-2.1
政府債務	GDP比%	9.8	8.0	7.4	9.9	10.6	10.8	11.5	12.7	15.6	15.9	15.6	17.4

(出所)IMF "World Economic Outlook, October 2017"を基に作成、2016、17年は推計値

第2章 金融制度概要

ロシア連邦が誕生する以前のソビエト連邦では「モノバンク制度」のもと、中央銀行としての機能と決済および短期信用供与業務はすべてソ連ゴスバンク(ソ連国家銀行)が担っていたが、1987年、ゴスバンクは企業への信用供与業務を停止し、以降は中央銀行としての役割に特化するようになった。替わって工業、農業、建設等の分野別に与信業務を行なう Agroprom Bank (Agricultural Bank)、Promstroi Bank (Industry and Construction Bank)、Zhilsots Bank(Social Investment Bank)と、ソ連の人民の家計からの貯金の受け入れを行う Sberbank (Savings Bank)、外国勘定と決済機能・外国為替取引に関する信用供与などの対外的な業務を行う Vneshekonombank(Bank for Foreign Trade)の5つの国営銀行が設立されると同時に、1988年の「協同組合法」によって民間金融機関の設立が認められた。

1990年のゴスバンクの改組による「ロシア連邦中央銀行」(以下『ロシア中銀』)の設立と「銀行および銀行業務法」の制定、1991年のソ連解体による市場経済導入と民営化を経て、従来のモノバンク制度から中央銀行と商業銀行を分離した二層式銀行制度への移行が行われ、複数の国有の商業銀行が誕生するとともに民間銀行や外資系銀行が金融市場に参加するようになった。

ソ連崩壊後の1990年代、ロシアでは政府による強制貯蓄制度の中止、中央政府の生産指令の停止、コメコン体制の崩壊による物資不足、ルーブルの下落などによって経済が混乱し、ハイパーインフレが起きた。このハイパーインフレを背景に、商業銀行はルーブルに対する為替投機的な取引と高利回りの短期国債への投資で利益をあげることに注力し、貯蓄受入れ、金融仲介や信用創造といった銀行の業務はほとんど行っていなかった。このような資金運用の脆弱性が災いし、1998年に通貨危機が起こると経営不振から零細銀行のみならず金融産業グループをバックとする主要銀行の20%以上が倒産した。

通貨危機後、ロシア政府は預金の保護や商業銀行への貸し出しを行うとともに、銀行間の合併推進や問題銀行の免許取り消しによる銀行セクターのリストラによって、金融システムの維持・強化を図った。また、ロシア開発対外経済銀行(VEB)やロシア農業銀行など国営専門銀行を設立して既存銀行制度に変化をもたらすことが試みられる一方、銀行再建機構 Bank Restructuring Agency (ARCO)を設立して銀行制度の安定化を図る動きも見られた。

1. 金融機関の種類

ロシアでは、前述の中央銀行と商業銀行を分離した二層式銀行システムを採用しており、第1層はロシア連邦中央銀行、その他の全ての金融機関ならびに外国資本銀行の現地法人、支店は第2層に分類されるということが「ロシア連邦中央銀行法(Federal Law No.86-FZ “On the Central Bank of the Russian Federation (Bank of Russia)”)」と「銀行及び銀行業務法(Federal Law No.395-1 “On Banks and Banking Activities)”)」によって規定されている。ロシア連邦中央銀行は国家通貨ルーブルの安定を守ることが第一の責任であるとともに独立した機関であると「ロシア連邦中央銀行法」によって定められている。「銀行および銀行業務法」は金融機関を、「利益を得るため、連邦法で定められた銀行業務を行うことを目的とする法人企業」と定義し、預金や融資、為替といった銀行業務を行うことが可能な「銀行」と、特定の業務のみを行う「非銀行金融機関」に分類している。

銀行の分類については、1990年の銀行及び銀行業法で「ジェネラルライセンス所有銀行(general licence holder bank)」と「基本ライセンス所有銀行(basic licence holder bank)」の二種類が規定されていたが、2017年6月同法は改正され、「ユニバーサルライセンス所有銀行(Universal licence holder bank)」と「基本ライセンス所有銀行(basic licence holder bank)」の二種類となった。

即ち、一旦全ての銀行は、授權資本の最低額が3億ルーブルが10億ルーブルに引き上げられて、ユニバーサルライセンス所有銀行となる。2018年1月以降、払込資本の最低額が10億ルーブルとされるが、この条件を満足し、また自己資本比率等も要求水準に達している銀行はそのままユニバーサルライセンス所有銀行として継続する。

しかし、そうでない銀行は基本ライセンス所有銀行や条件によっては非銀行金融機関へ変更となる。基本ライセンス所有銀行は、払込資本の最低額3億ルーブルは改正前と変わらないものの、海外に支店等を設置できず、海外の個人、法人顧客と取引ができない等、国際業務で制限等を受ける。他方、個人や金融機関からのルーブル建て預金については、預金準備率が5%から1%に引き下げられるなど、メリットもある¹。

「非銀行金融機関」には投資ファンドおよび年金基金、信用組合、リース会社、保険会社、金融会社といった計18業種の機関が含まれる。

図表 3: ロシアにおける金融機関の業態分類(2016年12月31日時点)

階層	業態		銀行数	総資産 (10億ルーブル)	根拠法	特徴
第1層	ロシア連邦中央銀行		1	-	ロシア連邦中央銀行法(1990年)	ロシア国立銀行として1990年に設立。 ロシアの通貨と金融機関の監督を行う。
第2層	金融機関	銀行	623	80,063	銀行及び銀行業務法(1990年)	根拠法の5章で規定される銀行業務を行う。 「ジェネラルライセンス所有銀行」と「基本ライセンス所有銀行」の二種類が存在。 投資ファンドおよび年金基金、信用組合、リース会社、保険会社、金融会社など
		非銀行	352			
	外国資本銀行		174			

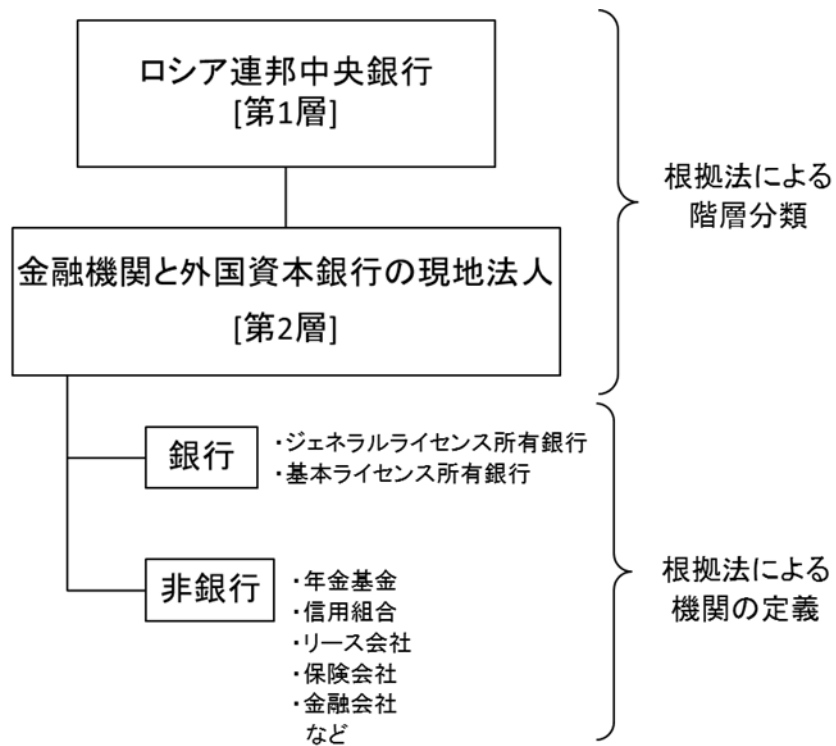
(出所)Rosstat(ロシア国家統計局)"Финансы России. 2016"

http://www.gks.ru/wps/wcm/connect/rosstat_main/rosstat/ru/statistics/publications/catalog/doc_1138717651859

(閲覧日)2018年3月25日

¹ Clifford Chance, New_Law_on_Two_tier_Banking_System_ENG_6035800.pdf等 (閲覧日: 2018年3月31日)

図表 4: ロシア金融機関の構成



(出所) 「今日のロシア連邦の銀行制度」 Современная банковская система Российской Федерации を基に作成

2. 監督官庁と指導体制

ソビエト社会主義共和国ではゴスバンクが中央銀行の役割を担っていたが、1990年制定の「ロシア連邦中央銀行法」に基づきロシア中銀が設立され、以後この銀行が中央銀行として銀行の設立許可や支店開設等の免許交付を行うとともに、連邦法に則った銀行の監督業務と、保険会社、年金基金、証券会社、信用調査機関の設立許可、監督・規制及び預金者の権利保護を行うということが「ロシア連邦中央銀行法」の第10章に規定されている。連邦法に規定された基準に基づく決算情報の開示の要求、金融機関の自己資本金が特定の銀行業務を行うのに充分であるかどうかのチェックといった銀行に対する監督業務は全てロシア中銀の“BSD (Banking Supervision Department)”が行っていたが、リテール銀行の監督・指導体制の強化のため、2017年3月にはロシア中銀における新たな監督部署として“SOBS (Service for Ongoing Banking Supervision)”が設立され、ロシア中銀の地方拠点が担っていたリテール銀行の監督業務の役割を引き継ぐこととなった。リテール銀行の監督業務を中央集約化し、その高効率化と質の向上を図るとともに、リテール銀行に対する監督基準を全国で統一し、監督責任者の結果に対する責任を明確なものにするのが SOBS 設立の狙いである。現在、リテール銀行の監督・指導は SOBS と、“SIBSD (Systematically Important Banks Supervision Department)”、そして前述の“BSD (Banking Supervision Department)”の3つの機関によって行われている。このうち、SIBSD はロシア中銀がシステム上重要であると指定した銀行、SOBS はそれ以外のリテール銀行の監督・指導業務をそれぞれ担当し、BSD は SOBS と SIBSD に対し、両機関が行う監督業務に関する指導と管理を行っている。また、SOBS や SIBSD が監督業務を行うにあたり、詳細な調査によって得られた情報なくしてその実行が困難であると判断された場合には、“BSD (Banking Supervision Department)”が両機関からの依頼のもとに、該当するリテール銀行に対する調査を行う。また、破産防止のためにロシア中銀から多額の融資を受けたり、資産規模が大きい金融機関に対して、不正な運営によるそれらの金融機関からの資産の流出の防止を目的として、ロシア中銀から任命され代表者が銀行の組織内に配属されて監督業務を行う場合もある。

銀行が個人から預金の受け入れを可能とするには、政府より預金受け入れが許可されているライセンスを与えられ、銀行として認可されてから2年以上が経過した機関である必要があると「ロシア連邦中央銀行法」の11章36項に規定されている。ただし、「ジェネラルライセンス」を付与され、かつ最低自己資本金が36億ルーブル以上であるとともに、その機関の管理者についての無制限の情報開示が可能な機関は認可期間が2年未満であっても預金の受け入れが可能である。

図表 5: 上位 10 行の総資産、貸出残高、預金残高(2016 年 12 月 31 日時点)

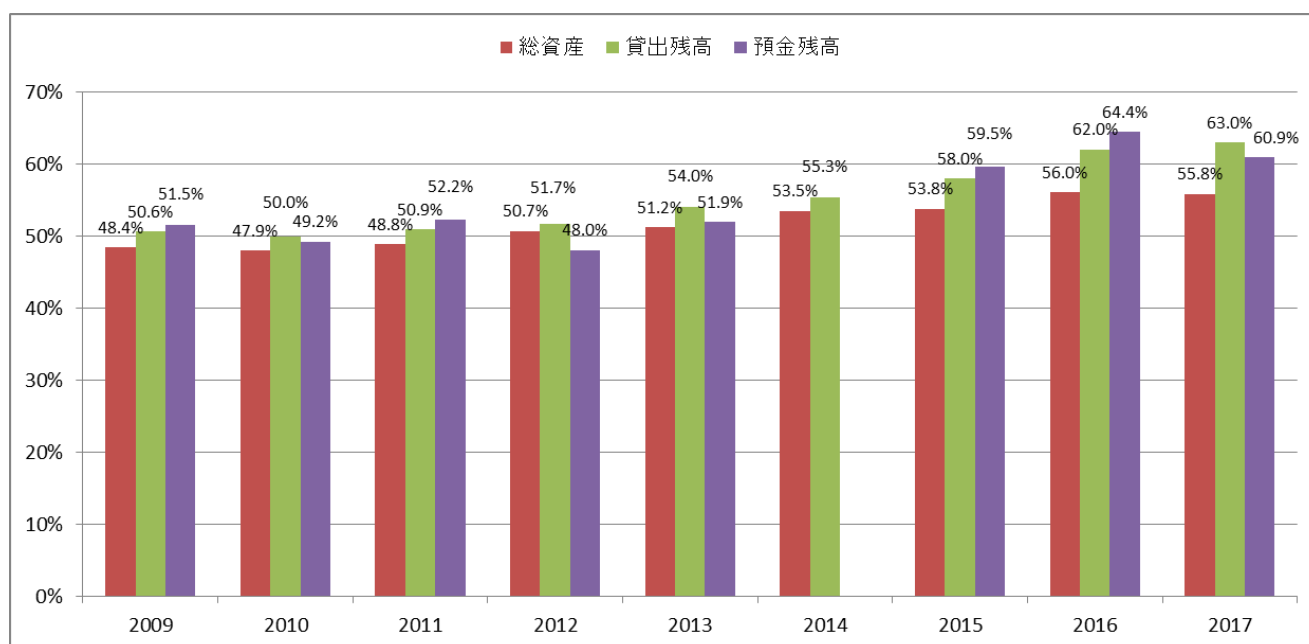
(単位: 10億ルーブル)	総資産		貸出残高		預金残高		リテール預金残高	
	金額	シェア	金額	シェア	金額	シェア	金額	シェア
Sberbank (ロシア貯蓄銀行)	21,976	27.4%	16,944	32.1%	18,684	37.3%	12,449	51.2%
VTB Bank (VTB銀行)	12,588	15.7%	8,854	16.8%	7,347	14.7%	3,004	12.4%
Gazprombank (ガスプロム銀行)	4,879	6.1%	3,248	6.1%	3,331	6.6%	678	2.8%
VTB24 (VTB24銀行) *2018 1月にVTB銀行と合併済み	2,979	3.7%	2,674	5.1%	2,579	5.1%	2,130	8.8%
Otkritie Bank (アトクリティ銀行)	2,703	3.4%	1,829	3.5%	1,187	2.4%	521	2.1%
Russian Agricultural Bank (ロシア農業銀行)	2,463	3.1%	1,618	3.1%	1,578	3.1%	613	2.5%
Alfa Bank (アルファ銀行)	2,270	2.8%	1,323	2.5%	1,372	2.7%	752	3.1%
Credit Bank of Moscow (クレジット・バンク・オブ・モスクワ)	1,568	2.0%	627	1.2%	689	1.4%	249	1.0%
Promsvyazbank (プロムスバージバンク)	1,224	1.5%	783	1.5%	883	1.8%	401	1.7%
UniCredit Bank Russia (ロシア・ユニクレディット銀行)	1,172	1.5%	677	1.3%	779	1.6%	213	0.9%
その他銀行	26,241	32.8%	14,239	27.0%	11,685	23.3%	3,293	13.5%
合計	80,063	100%	52,816	100%	50,114	100%	24,303	100%

*2018 年 1 月に VTB 銀行と合併済み

(出所) <http://www.banki.ru/banks/ratings/>、各行ウェブサイトを基に作成

(閲覧日 2018 年 2 月 19 日)

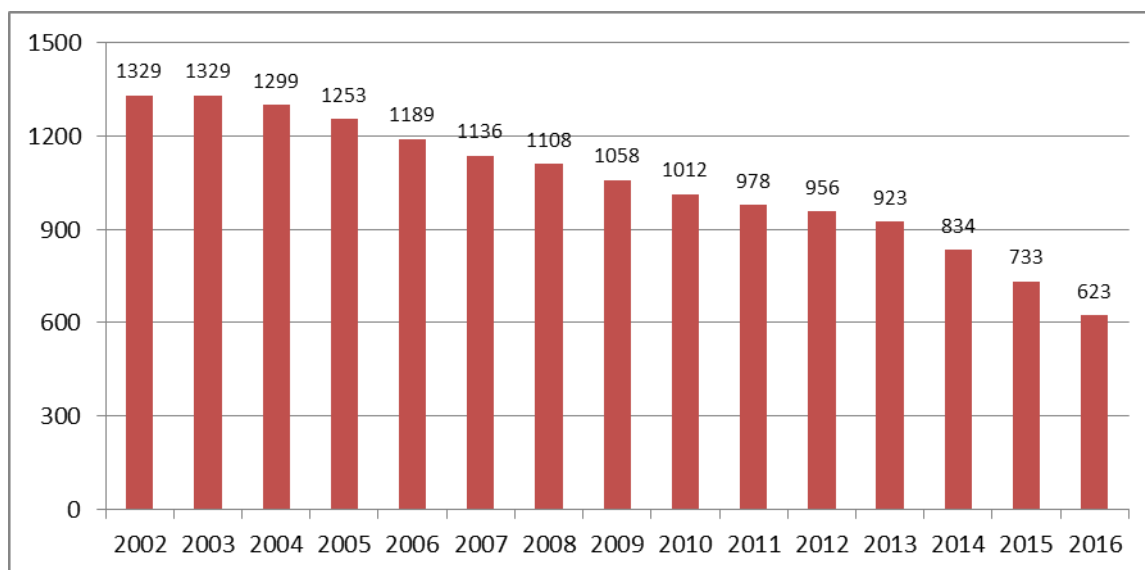
図表 6: 総資産上位 5 行の総資産、貸出、預金シェアの推移 (9 月 30 日時点)



(出所) ロシア中銀資料、2014 年は上位 5 行に関する預金シェアのデータなし

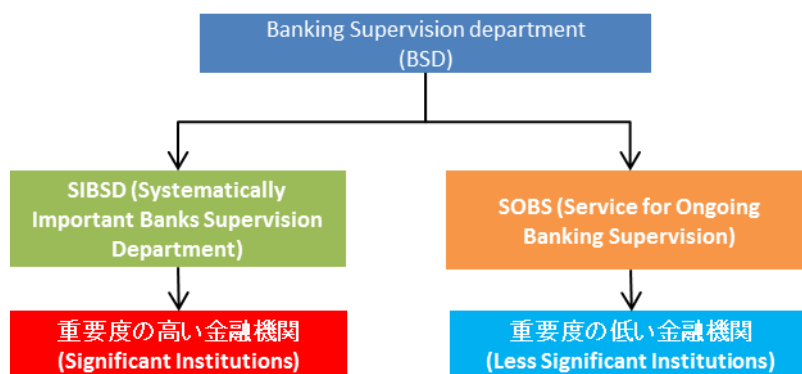
(閲覧日 2018 年 2 月 19 日)

図表 7: 銀行数の推移 (12 月末時点)



(出所)ロシア中銀発表の資料(http://www.cbr.ru/publ/bsr/bsr_2016.pdf,http://www.cbr.ru/publ/bsr/bsr_2012.pdf) を基に作成
(閲覧日)2018年2月28日

図表 8 : 監督官庁の組織図



(出所)ロシア中銀発表の資料を基に作成

3. 預金保険制度の枠組み

個人から預金の受け入れを行う銀行は全て、預金者への預金の返還を保証し、損失を防止することを目的に、ロシアの預金保険制度(“The System of the Mandatory Insurance of Household Deposits with Banks”)への加入が「ロシア連邦中央銀行法」の11章38項によって義務づけられている。この強制加盟の預金保険制度は連邦法 “On the Insurance of Household Deposits in Banks of the Russian Federation” によって構築されており、この法令に基づき2004年に設立されたロシア預金保険公社 (“Deposit Insurance Agency of Russia”)が保険事故の際の預金者への預金の返還や、銀行からの資金徴収による預金保険基金の管理といった業務を担当し、制度の運営を行っている。

保険事故によって補償される預金の最大額は、2006年8月以前は預金者一人当たり10万ルーブルであったが、その後段階的に引き上げられ、2014年には140万ルーブルとなった。強制加盟の預金保険制度と並行して、銀行が任意に預金保険基金を設立することが「ロシア連邦中央銀行法」の11章39項によって認められている。2004年以前は預金保険制度が存在せず、政府系銀行のズベルバンクのみが政府によって預金が保障されているという共通認識のもと、個人預金が同行に集中する状態が長く続いており、銀行間のより公正な競争を狙いとして預金保険制度が導入されたと考えられる²

4. 個人資産運用に関わる税制全体の中での預貯金税制

現行の税法によると、ロシア中銀の政策金利である中銀キーレート(“Key Rate”)³を5%以上超えるルーブル預金金利及び9%を超える外貨預金金利に対しては35%の高率が課せられる。それ以外の預金金利に対しては、ロシア在住者(国内年間滞在日数183日以上)は13%、非居住者は30%が課せられる⁴。

配当課税は居住者13%、非居住者15%、キャピタルゲイン課税は居住者13%、非居住者30%となっている。

図表 9: 預貯金税制

種別		税率	
		ロシア居住者*	非居住者
預金金利	下記以外の預金	13.0	30.0
	中銀キーレートを5%以上超えるルーブル預金金利及び9%を超える外貨預金金利	35.0	35.0
配当		13.0	15.0
キャピタルゲイン		13.0	30.0

(出所)EY ロシア税率一覧 2017 等

*国内年間滞在日数183日以上

² RUSSIAN FEDERATION 「FEDERAL LAW On the Central Bank of the Russian Federation (Bank of Russia)」

https://www.cbr.ru/eng/today/status_functions/law_cb_e.pdf

Deposit Insurance Agency 「The Russian Federation federal law on insurance of household deposits in banks of the Russian Federation」 https://www.asv.org.ru/en/insurance/law/law_1/

Deposit Insurance Agency 「About DIA」 <https://www.asv.org.ru/en/dia/>、<https://www.asv.org.ru/insurance/faq/>

³ 中銀キーレートとはロシア中銀が商業銀行を対象に行う1週間物の入札レポレートを指す。2018年2月12日以降7.5%p.a.

⁴ Ernst&Young 「ロシア税率一覧 2017 等」

[http://www.ey.com/Publication/vwLUAssets/EY-tax-tables/\\$FILE/EY-tax-tables.pdf](http://www.ey.com/Publication/vwLUAssets/EY-tax-tables/$FILE/EY-tax-tables.pdf) p14

第3章 郵便貯金の概要

1. ポストバンクの沿革概要⁵

1990年9月28日、ポストバンクの前身となるベジツァ銀行(Bezhitsa Bank OJSC)⁶が設立された⁷。ベジツァ銀行は2012年2月にVTB銀行によって買収され⁸、同年9月にレト銀行(Leto Bank OJSC)と改称されて所在地がモスクワに移された⁹。2014年8月、VTB銀行の子会社であるVTB24が同行の唯一の株主となった。2016年1月27日にレト銀行をベースとし、VTB24とロシア郵便が新たに合弁会社としてポストバンク(PJSC郵便銀行)を設立し、同年3月に運営が開始された。¹⁰¹¹。

2016年12月31日時点の、ポストバンクの株式資本は310,146,000ルーブルに達した(2016年1月1日時点では214,977,000ルーブル)。2016年に同行は大幅な成長を示した。2017年1月1日時点で同行の銀行資産は、約1,094億ルーブルに達し、2016年1月1日時点の約611億ルーブルと比較し79%増加となった。

2016年12月31日時点でのポストバンクの市場シェアは、POS-lending市場で8.0%(2016年1月1日時点で7.0%)、キャッシュローン市場で2.4%(2016年1月1日時点で1.3%)であった。2016年末時点の利用者総数は、300万人を超える規模となった¹²。2016年度における預金・貯蓄口座残高は2015年度と比較して、13倍増を記録し、2016年12月31日時点で約354億ルーブルであった(2015年12月31日時点で約27億ルーブル)¹³。

2. 組織形態

(1) 経営形態

ポストバンクはロシアでのリテール銀行の大手であるVTB銀行の専門性の高い金融サービスを、ロシア郵便が有するロシア国内の郵便局の支店による広大なネットワークを通してロシア国民に提供すべく設立された合弁会社である。2016年時点でVTB24銀行の出資比率が50.00002%となっており¹⁴、わずかの差ながら筆頭株主となっている。

⁵ 経済企画庁「平成9年 年次世界経済報告 金融制度改革が促進する世界経済の活性化」(平成9年11月28日)
<http://www5.cao.go.jp/keizai3/seikaikeizaiwp/wp-we97/wp-we97-00304.html>

⁶ ポストバンク「アニュアルレポート2016」p2

<https://www.pochtabank.ru/about/data>

⁷ ポストバンク「アニュアルレポート2016」p2

<https://www.pochtabank.ru/about/data>

⁸ VTB BANK「連結財務諸表30 June 2012」p7

<http://www.vtb.com/ir/statements/ifrs/>

⁹ Bloomberg ウェブサイト Company Overview of Leto Bank OJSC

<https://www.bloomberg.com/research/stocks/private/snapshot.asp?privcapid=23135447> (2017年9月29日閲覧)

¹⁰ ポストバンク「アニュアルレポート2016」p2

<https://www.pochtabank.ru/about/data>

¹¹ モーニングスター「ロシア政府、ロシア版“ゆうちょ銀行”設立を認可—16年初め事業開始へ—」

<https://www.morningstar.co.jp/msnews/news?rncNo=1690209>

¹² ポストバンク「アニュアルレポート2016」p3

<https://www.pochtabank.ru/about/data>

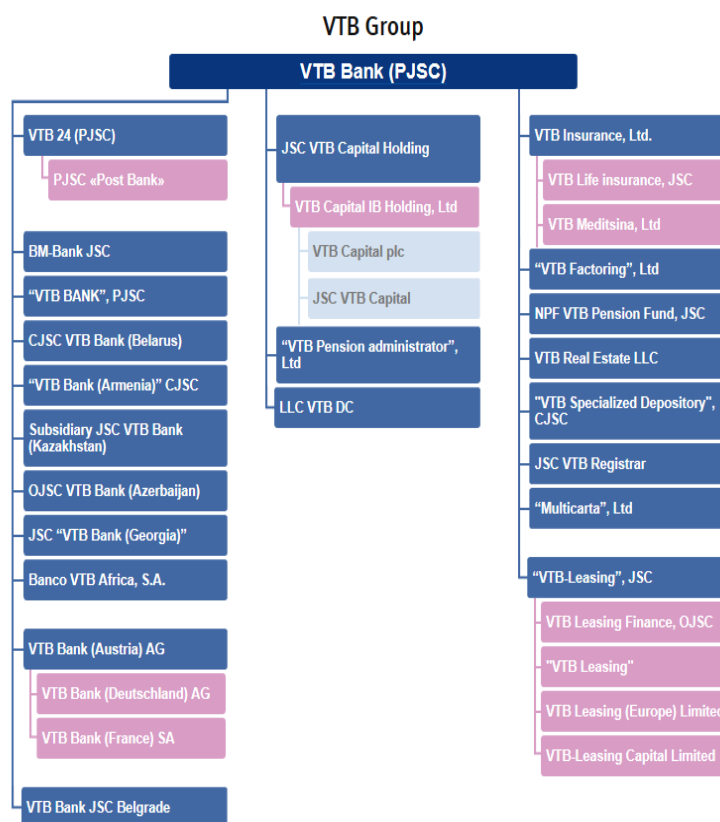
¹³ ポストバンク「アニュアルレポート2016」p3

<https://www.pochtabank.ru/about/data>

¹⁴ ポストバンク「監査報告書2016」p12

https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/data/Pochta_bank_2016.pdf (閲覧日: 2018年1月25日)

図表 10：ポストバンクの組織図



(出所)VTB 銀行ウェブサイト <http://www.vtb.com/group/> (閲覧日)2017年12月25日

(2) 金融サービス提供の形態

ポストバンクは、預金・貯蓄口座、クレジットカード、個人・法人顧客へのローンの貸付、給与支払いサービス、決済や送金サービスを提供している。預金・貯金口座の他、決済や送金サービスはインターネットバンクおよびATMを通じて利用可能である¹⁵。ポストバンクの2017年第3四半期の公表資料によると、2017年9月時点でポストバンクはロシア全土で70以上の地域で約12,000か所の拠点を有し、現在ロシアの金融市場において第2位の規模の大きさのリテールネットワークを持つ。ポストバンクは人口が3万人未満の小規模な市町村の80%以上をカバーしており、その顧客数は450万人に達している¹⁶。拠点としてはポストバンクの支店80店、カスタマーセンター343か所、商業施設内の小型営業窓口221か所と郵便局内に設置された営業窓口11,571か所が存在し、郵便局内営業窓口の数はロシア国内に約42,000か所存在する郵便局のおおよそ27%にのぼる。また、ポストバンクのPOSシステム(ATM等)を利用した取引も可能となっており、その拠点数は50,000以上である。2017年には消費者

¹⁵ ポストバンク ウェブサイト <https://www.pochtabank.ru/service> (閲覧日 2018年1月25日)

¹⁶ ポストバンク ウェブサイト <https://www.pochtabank.ru/about> (閲覧日 2018年1月25日)

¹⁷ ポストバンク 四半期決算(Q3)

https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/data/Promezhutochnaia_bukhgalterskaia_fin_otchetnost_2017_q3.pdf (閲覧日 2018年2月6日)

ローンの申込などが可能な 24 時間営業のコールセンターが新たに開設され、シベリア地域や極東地域といった支店数が少ない遠隔地域へのサービス提供の効率化が進められている。¹⁸

(3) 窓口取扱時間

ポストバンクの窓口業務は主に郵便局にて行われている。取扱時間は平日は 8:00-20:00、土曜日は 9:00-18:00 であるが、地域により異なる。

図表 11：ポストバンク等の取扱時間

取扱場所	取扱時間
郵便局内の営業所窓口	平日：8:00～20:00 土：9:00～18:00 (場所により時間が異なる)
ポストバンクATM	月：11:00～20:00 火-金：9:00～20:00 土：9:00～18:00 日：休 (場所により時間が異なる)
VTB系列銀行ATM	(場所により時間が異なる)

(出所)ポストバンクウェブサイト
(閲覧日)2017年12月25日

3. 主要なリテール業務内容

(1) 預金業務概要

ポストバンクの預金は、現在すべてルーブル建てとなっている点が特徴である。個人向けには普通預金と定期預金の二種類のサービスを提供している。顧客の持つ口座にある預金のうち、定期預金、普通預金額の総額はそれぞれ約 256 億ルーブル、約 9 億ルーブルとなっている。口座開設の申し込みは郵便局内のポストバンクの窓口、またはオンラインを通して行うことが可能である。

● 普通預金

ポストバンクは、普通預金として「基本プラン」と「年金受給者向けプラン」を提供している。預金額は 1 ルーブル以上であれば自由に設定可能である。開設した口座はポストバンクが発行するデビットカードと連動しており、このカードを利用して支払いや現金の引き出しをすることができる。

顧客の口座預金残高に対し、図表 12 に示されている金利(年利)が毎月月割りで支払われる。下記の付帯サービス料は無料となっている。

- ・ 普通預金口座の開設と利用
- ・ デビットカード の発行と利用

¹⁸ <https://www.pochtabank.ru/news/458032>

- ・ モバイル・インターネットバンキングの利用
- ・ 普通預金口座からの他のポストバンク口座への振込手数料
- ・ モバイル・インターネットバンキングを利用した、他銀行からのポストバンク口座への振込手数料(振込額 3,000 ルーブル以上)
- ・ ポストバンクや VTB 銀行グループの ATM、郵便局におけるポストバンクの営業所での現金引き出し / 預け入れ手数料

(2) 資金運用業務

2016 年末の決算報告書によると、ポストバンクの資産運用は個人や法人へのローンなどのクレジット商品の提供による受取利息が主要な収益源となっており、有価証券や外貨為替による資金運用はされていないのが現状である。

● 定期預金

ポストバンクは消費者の利用用途に合わせ、以下の 4 つの定期預金プランを用意している。

図表 12 : ポストバンクの個人向け普通預金口座

口座預金額 (ルーブル)	金利 (%)	
	基本プラン	年金受給者向けプラン
1,000 – 49,999.99	3%	4%
50,000 以上	5%	6%

(出所)ポストバンクウェブサイト <https://www.pochtabank.ru/service/sberschet>
(閲覧日)2018 年 3 月 25 日

図表 13 : ポストバンクの個人向け定期預金

プラン 1 (Хороший) : 優良型	
預金残高 (ルーブル)	金利
	6 か月
50,000 以上	7.80%
備考: [追加受取可能な利率の金利とその条件] +0.25% ・年金受給者 ・モバイル・インターネットバンク (オンライン) での口座開設をした者 上記利率の加算 : 満了時のみ (満了前引き出し可) 追加預金可能期間; 口座開設から 10 日以内	

(出所) ポストバンクウェブサイト
https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/deposits/Khoroshiy_vklad_20171109.pdf
 (閲覧日) 2017 年 12 月 25 日

プラン 2 (Kapitalnyi) : 収益重視型			
預金残高 (ルーブル)	金利		
	6 か月	12 か月	18 か月
50,000 – 499,999.99	7.50%	7.50%	7.20%
500,000 – 1,499,999.99	7.50%	7.60%	7.20%
1,500,000 以上	7.50%	7.70%	7.20%
備考: [追加受取可能な利率の金利とその条件] +0.25% ・年金受給者 ・モバイル・インターネットバンク (オンライン) での口座開設をした者 上記利率の加算 : 満了時のみ (満了前引き出し可) 追加預金可能期間 ; 口座開設から 10 日以内			

(出所) ポストバンクウェブサイト
https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/deposits/Kapitalnyi_20171017.pdf
 (閲覧日) 2017 年 12 月 25 日

プラン 3 (Dohodnyi : 予算管理重視型)	
預金残高 (ルーブル)	金利
	12 か月
500,000 – 1499,999.99	7.20%
1500,000 以上	7.35%
備考:[追加受取可能な利子の金利とその条件] +0.25% ・年金受給者 ・モバイル・インターネットバンク (オンライン) での口座開設をした者 上記利子の加算 : 毎月 追加預金可能期間 ; 口座開設から 10 日以内	

(出所)ポストバンクウェブサイト
https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/deposits/Dohodnyi_20171017.pdf
(閲覧日)2017年12月25日

プラン 4 (Nakopitelnyi : 貯蓄重視型)		
預金残高 (ルーブル)	金利	
	12 か月年利	複利換算
5,000 – 499,999.99	6.85%	-7.03%
500,000 – 1,499,999.99	7.00%	-7.19%
1,500,000 以上	7.15%	-7.35%
備考: 3 か月ごとに金利が複利として預金に加算されるシステム [追加受取可能な利子の金利とその条件] +0.25% ・年金受給者 ・モバイル・インターネットバンク (オンライン) での口座開設 上記利子の加算 : 3 か月ごと 追加預金可能期間 ; 制限なし		

(出所)ポストバンクウェブサイト
https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/deposits/Nakopitelnyi_20171017.pdf
<https://www.pochtabank.ru/service/deposits>
(閲覧日)2017年12月25日

(3) 送金・決済業務概要

● 国内送金¹⁹

ポストバンクは普通預金口座からの送金サービスを提供している。送金の際にかかる手数料は以下の図表のようになっている。

● 海外送金²⁰

ポストバンクに普通預金口座を持つ個人は、ウェスタンユニオンの決済システムを通じて海外への送金を行うことができる。送金先口座の所在国に応じた手数料が設定されており、送金はルーブル建てで行われる。海外送金に対する手数料や諸条件の詳細は以下の図表のとおりである。

● 決済業務

ポストバンクでは現金または同行のカード、他銀行のカードを利用した携帯電話の通話料やテレビの受信料、インターネット利用料、公共料金などの支払いを支援するサービスを提供している。特に携帯電話の通話料やテレビの受信料、インターネット利用料の支払いにおいては、ポストバンクのカードを利用することにより手数料がかからない特典を用意し、同行の顧客を優遇するサービスを行っている。ただし、このようなサービスは銀行と契約を結んだ業者に対する決済に対してのみ適応される。

それぞれの料金の支払いの際の手数料は以下の図表のとおりである。

図表 14：ポストバンクの国内送金手数料

送金の種類		手数料
ポストバンクの口座への送金		無料
他銀行に口座を持つ 個人・法人の口座への送 金	ポストバンクの窓口利用	0.8% (最低15/ 最高1,000ルーブル)
	インターネット バンキング利用	0.7% (最低20/ 最高1,000ルーブル)
国家予算・非国家予算基金（年金基金など）への 送金		無料

(出所)ポストバンクウェブサイト

https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/sberschet/Sberschet_Bazovyi_20171001.pdf

(閲覧日)2017年12月25日

¹⁹ ポストバンクウェブサイト

https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/sberschet/Sberschet_Bazovyi_20171001.pdf

²⁰ ポストバンクウェブサイト

https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/dbo/transfer_rates_westernunion_2010918.pdf

図表 15 : ポストバンクの海外送金手数料及び制限事項

送金先口座の所在国と送金に対する手数料			
送金先口座の所在国		送金額 (ルーブル)	手数料 (ルーブル)
近隣国	アゼルバイジャン・ベラルーシ・グルジア・ カザフスタン・キルギス・モルドバ・ タジキスタン・トルクメニスタン・ ウズベキスタン・ウクライナ・ラトビア・ リトアニア・エストニア・チェコ・ イスラエル・トルコ	100 - 10,000	150
		10,000 以上	送金額の1.5%
遠方国	近隣国と中華人民共和国（香港/マカオ含む）・ 台湾・モンゴル・ベトナムを除くすべての 対象国・地域	100 - 5,000	125
		5,000 以上	送金額の2.5%
中華人民共和国（香港/マカオ含む）・台湾・ モンゴル・ベトナム		100 - 25,000	250
		25,000 - 50,000	500
		50,000 - 75,000	800
		10,000 以上	1,000
海外送金受け取り手数料		無料	
送金に関する制限事項			
一回あたり送金最少額		100	
一回あたり送金最大額		150,000	
期間ごとの送金最大額		一日あたり	5,000
		一週あたり	7,500
		一か月あたり	10,000
一か月あたり最大送金回数		10回	
期間ごとの送金受け取り最大額		一週あたり	7,500
		一か月あたり	15,000
期間ごとの送金受け取り最大回数		一日あたり	2
		一週あたり	5
		一か月あたり	10
備考： 通貨の単位はすべてルーブルとする。 送金の受け取りはドル建てで行われる。表中ではルーブルに換算した。			

(注)送金の受取はドル建てで行われる。上記の表中ではルーブルに換算している。

(出所)ポストバンクウェブサイト

https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/dbo/transfer_rates_westernunion_2010918.pdf

(閲覧日)2017年12月25日

図表 16 : ポストバンクの決済手数料

種類	支払い方法別手数料 (%)		
	ポストバンク カード	現金	他銀行カード
携帯電話通話料	0	*	2%
テレビの受信料 インターネット利用料	0	*	2%
公共料金	*	*	2%
その他支払い	*	*	2%

*支払先により決定し、決済前に通知される
(出所)ポストバンクウェブサイト
(閲覧日)2018年3月21日

(4) クレジット商品取扱業務概要²¹

ポストバンクはクレジットカードやローン業務においては、幅広い顧客層をターゲットとした商品を取り扱っている。なお、2016年末で顧客向け貸し出し業務の残高は現在 115,267 百万ルーブルであり、うち現金貸出が 80.6%を占めている。

● クレジットカード

ポストバンクは顧客に対し、利用金額の多いユーザー向けの Visa Platinum カード二種類及び無利息で少額を借り入れることのできる Visa カード一種類、計三種類のクレジットカードを提供している。

● 現金ローン

ポストバンクの提供する現金ローンは、滞納なく返済を行った顧客が通常よりも低い利率の金利が適用される「Гарантированная ставка (無滞納還付サービス)」があるのが特徴であり、顧客はローン完済時に通常の利率で支払った利息との差額を還付される。審査期間は1営業日のみ、収入証明不要でパスポートによる身分証明のみで借入れが可能である。

²¹ ポストバンクウェブサイト <https://www.pochtabank.ru/service/cards/>

図表 17 : ポストバンクの顧客向け貸出状況(2016 年末)

顧客向貸出残高	2016年 (百万ルーブル)	比率
現金貸出(Cash loans)	92,908	80.60%
小売店でのクレジットカード利用 (Credits in retail outlets)	15,893	13.80%
クレジットカード利用 (Credit cards)	6,466	5.60%
顧客向けローン合計 (Total loans to customers)	115,267	100.00%
貸倒引当金差引 (Less provision for impairment)	-24,397	
顧客向けローン(ネット)合計 (Loans to customers)	90,870	

(出所)ポストバンク監査済財務報告書(連結)(2016 年)

https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/data/Pochta_bank_2016.pdf24 ページの 7.
(閲覧日)2018 年 1 月 16 日

図表 18 : ポストバンクの現金ローン

“Первый почтовый” (第一郵便ローン)		
借り入れ可能額 (ルーブル)		50,000 – 500,000
金利	通常	19.9% , 24.9%
(年率)	無滞納還付 サービス適応時	16.90%
無滞納還付サービス手数料 (借入時支払い)		通常金利:19.9% 借り入れ額の4.9% 通常金利:24.9% 借り入れ額の6.9%
返済期間		1 – 5 年
ローン審査期間		1営業日

(出所)ポストバンクウェブサイト

https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/cashcredit/Pervyi_Pochtovyi_20180109.pdf?_ga=2.89102171.1134043157.1519779993-421733900.1508983320
(閲覧日)2018 年 2 月 28 日

4. 会計基準と財務諸表

前節にて述べた通り、ポストバンクは 2016 年 3 月に運営が開始されたばかりであるが、財務諸表は IFRS に基づいて前身の銀行のデータを用いると、以下の通りとなっている。

図表 19：ポストバンクの連結損益計算書

(百万ルーブル)	2012年12月期	2013年12月期	2014年12月期	2015年12月期	2016年12月期
受取利息	28	4036	10701	11 904	17 204
支払利息	(2)	(901)	(3019)	(5 046)	(6 583)
資金利益	26	3135	7682	6 858	10 621
貸倒引当金	(12)	(2348)	(9195)	(9 780)	(5 364)
貸倒引当金控除後の正味受取利息	14	787	(1513)	(2 922)	5 257
非資金利益	31	(72)	2626	6 235	9 266
手数料収入	4	47	3000	6 775	10 187
手数料費用	(11)	(198)	(501)	(497)	(895)
その他の費用				(43)	(26)
非資金費用	(812)	(5117)	(7676)	(8 654)	(13 013)
人件費	(565)	(2850)	(3785)	(4 622)	(7 040)
減価償却費	(15)	(190)	(510)	(644)	(781)
その他管理費				(3 388)	(5 192)
税引き前利益	(766)	(4402)	(6563)	(5 341)	1 510
法人税等	140	925	1313	1 068	(302)
包括利益合計	(627)	(3477)	(5250)	(4 273)	1 208

(出所)ポストバンクの IFRS に基づく財務諸表(2012 年~2016 年) <https://www.pochtabank.ru/about/data>

(注)ポストバンクの設立は 2016 年 3 月にて本来一期のみであるが、それ以前は前身の銀行。

図表 20：ポストバンクの連結貸借対照表

百万ロシアルーブル	2012年12月期	2013年12月期	2014年12月期	2015年12月期	2016年12月期
資産(Assets)					
現金及び現金同等物(Cash and cash equivalents)	313	2,975	2,660	2,744	10,006
ロシア中銀への準備預金(Obligatory reserves in the accounts in Bank)	0	5	25	79	1,119
信用機関への貸付(Amounts due from credit institutions)	1	1	45	82	173
顧客への貸付(Loans to customers)	686	26,788	43,950	53,433	90,870
有形固定資産および無形固定資産(Property, plant and equipment and intangible assets)	583	1,791	2,407	2,449	6,741
繰延税金資産(Deferred tax assets)	128	1,243	2,471	3,448	3,148
その他資産(Other assets)	291	1,369	1,543	1,849	2,148
資産合計(Total assets)	2,005	34,173	53,100	64,074	114,205
負債(Liabilities)					
信用機関からの借入(Amounts due to credit institutions)	381	26,623	41,470	45,717	53,381
顧客口座(Customer accounts)	5	7	33	2,976	36,622
繰延税金負債(Deferred tax assets liabilities)	2	177	92	-	-
その他負債(Other liabilities)	266	1,027	1,853	1,828	2,680
負債合計(Total liabilities)	656	27,835	43,449	50,521	94,683
資本(Capital)					
授權資本(Authorized capital)	325	325	325	325	420
資本剰余金(Share premiums)	213	213	213	213	4,998
利益剰余金(累積不足額)(Retained earnings(accumulated shortfall))	(415)	(3,955)	(9,205)	(13,479)	(12,271)
その他資産(Other funds)	1,227	9,757	18,320	26,495	26,375
資本合計	1,349	6,339	9,652	13,554	19,522
負債及び資本合計	2,005	34,174	53,100	64,074	114,205

(出所)レトバンク・ポストバンクの IFRS に基づく財務諸表(2013 年~2016 年)

<http://letobank.stage.quantumart.ru/upload/images/documents/data/leto-bank-2013-ifs.pdf>

http://letobank.stage.quantumart.ru/upload/images/documents/data/leto_bank_2014.pdf

https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/data/Pochta_bank_2015.pdf

https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/data/Pochta_bank_2016.pdf

(注)ポストバンクの設立は 2016 年 3 月にて本来一期のみであるが、それ以前は前身の銀行。

第4章 金融セクターにおけるリテール金融機関の特徴

1. 金融セクターにおけるリテール金融機関の位置付け

ロシアの銀行制度はロシア中銀とその他の信用機関・金融機関の二つの階層からなっている。ロシア中銀はリテール金融機関のうち、展開規模や顧客からの預金額などの資金総額といった指標を基に金融システム上重要な銀行を10行²²指定し、指定されたリテール金融機関が債務不履行に陥った際には公的資金による救済を行う。金融システムに重要との指定を受けた銀行は国内できわめてシェアが高く、その合計資産はロシアの金融セクターの総資産の60%超を占めている。

図表 21：システム上重要な銀行

番号	銀行名
1	UniCredit Bank(ユニクレディット銀行)
2	GAZPROMBANK (ガスプロム銀行)
3	VTB Bank (VTB銀行)
4	ALFA-BANK(アルファ銀行)
5	Sberbank(ロシア連邦儲蓄銀行)
6	CREDIT BANK OF MOSCOW(クレジット・バンク・オブ・モスクワ)
7	Bank FC Otkritie(アトクリティ銀行)
8	ROSBANK(ロス銀行)
9	Promsvyazbank(プロムスバーズ銀行)
10	Raiffeisenbank(ライファイゼン銀行)
11	Russian Agricultural Bank(ロシア農業銀行)

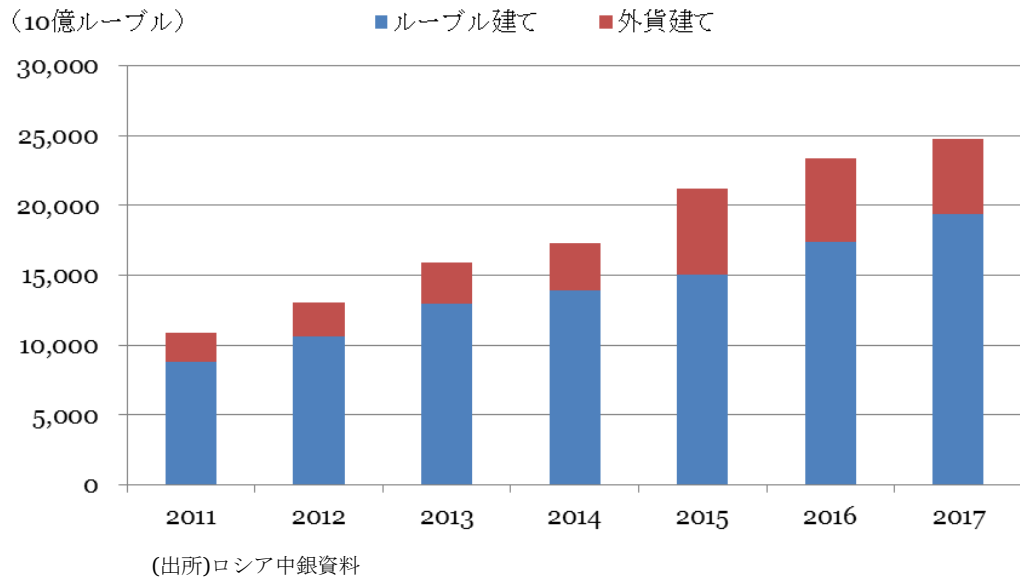
(1) 預金残高の推移

ロシアにおける個人の預金残高は右肩上がりに拡大している。2008年のロシア財政危機、そしてウクライナ騒乱(ロシアのクリミア編入、東部紛争)による欧米からの経済制裁と原油価格の低迷によって2014年に引き起こされたルーブルの暴落から自国の通貨に対する信用は低下しており、個人セクターにおいては外貨建て預金や貴金属の形での資産保有の比率が上昇している傾向がみられる。

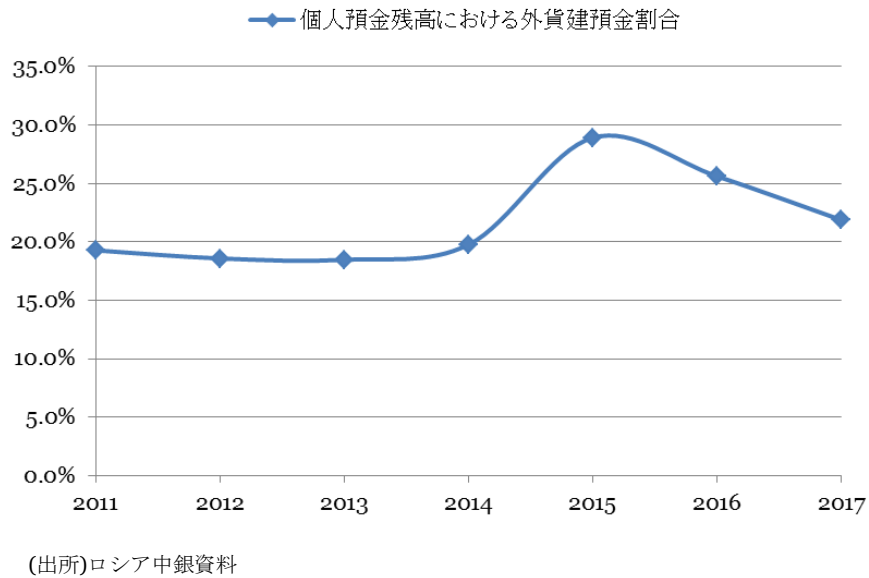
²² ロシア中銀発表資料

https://www.cbr.ru/eng/press/PR/?file=14092017_142710eng2017-09-14T14_26_24.htm

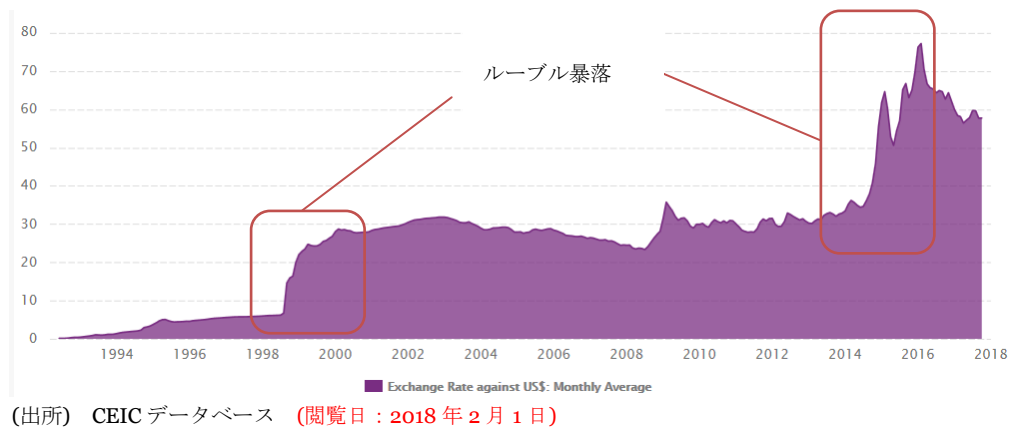
図表 22：個人預金残高の推移（9月30日時点）



図表 23：個人預金残高に占める外貨建て預金の割合(9月30日時点)



図表 24：ルーブル/ドルレートの推移



(2) 資金の貸出等

2014年初めのウクライナ情勢緊迫化により資本流出が進み、ロシアの景気は減速していたが、7月の欧米諸国の制裁強化、原油価格や資源価格の低迷、ルーブル安の進行等により、景気は大幅に後退した。この影響を受け、2015、16年は銀行の自動車ローンなど消費関連ローンも前年比マイナスとなった。これに対し住宅ローンは、国の補助金によるローン金利の低下、母親資本²³が利用できるようになったことなどもあり、堅調な動きを示した。

図表 25：個人向け貸出残高の推移

(単位:10億ルーブル)	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
住宅ローン	1,992	2,547	3,451	3,829	4,299	4,937
前年比増加率	-	27.9%	35.5%	11.0%	12.3%	14.8%
自動車ローン	723	882	904	713	597	662
前年比増加率	-	22.0%	2.5%	-21.1%	-16.3%	10.9%
その他消費者ローン	4,246	5,701	6,444	5,730	5,956	5,910
前年比増加率	-	34.3%	13.0%	-11.1%	3.9%	-0.8%
個人向けローン全体	6,961	9,130	10,799	10,272	10,852	11,509
前年比増加率	-	31.2%	18.3%	-4.9%	5.6%	6.1%

(出所)ロシア中銀資料“Review of the Banking Sector of the Russian Federation”を基に作成
(各年10月31日時点)

2. 主要リテール銀行の特徴

前述の通り、ロシアの銀行制度はロシア中銀とその他の信用機関・金融機関の二層構造であるため、他の多くの国とは異なりリテール金融機関(グループ)は存在しない。ここでは、主要リテール銀行の概況をまとめた。

(1) ポストバンク

1) ポストバンクの特徴

前述のとおり 2016年にポストバンクの株式資本は大幅に増加した。2016年末時点の利用者総数は、300万人を超える。2016年度における預金残高は2015年度と比較して、13倍増を記録し、2016年12月31日時点で約354億ルーブルであった(2015年12月31日時点で約27億ルーブル)。

ポストバンクはロシアにおけるリテール大手であるVTB銀行の高度な金融サービスをロシアポストが有する豊富な拠点を通して行きわたらせる役目を担っている。

特に、ロシアポストの拠点は人口3万人未満の小規模な市町村の80%をカバーしていることから、これまでアクセスが悪く金融サービスから疎外・排除されていた地域の住民や企業に対しても、都市部と遜色ないサービスを提供することが期待されている。

²³ 少子化対策として、第二子を生んだ場合国から支給される年収の0.5~2倍程度の補助金

2) 金融市場の中でのポストバンクの競争力

ポストバンクの競争力は、ロシア全土 80 以上の地域に 12,000 拠点を開設し、非常に広範なリテールネットワークを保有する点である。また、個人向けサービスを強化しており、携帯電話の通話料金やテレビの受信料、インターネット利用等の支払時における同行のカード利用による手数料の免除や、クレジット関連商品での支払が順調な顧客に対する低利率ローンの提供、年金受給者への特典(貸出金利の優遇(一般 19.9%に対し年金受給者 16.9%等)、貸出手数料の優遇(一般 4.9%に対し年金受給者 1.0%等))等、ニーズに適したサービスを提供している。

(2) Sberbank(ロシア連邦貯蓄銀行)

1) Sberbank(ロシア連邦貯蓄銀行)の特徴

Sberbank は、1841 年に設立されたロシアの商業銀行である。国営の貯蓄銀行として設立されたが、現在はリテール・ホールセールいずれも取扱い、国際業務にも注力している。現在の貸出先は、2016 年末貸出残高のうち個人向けが 26.9%、企業向けが 73.1%で²⁴、企業が 91%、個人が 16%で、リテール金融よりホールセールに注力している。海外 22 カ国に拠点をもち、国際事業の総資産は、同行の総資産の 14%を占める。日本との関わりとしては、みずほ銀行、北海道銀行と業務協力協定を締結している。また、JCB と提携し、2018 年より順次、ロシア国内の同行のカード加盟店において JCB カードの取り扱いを開始する予定である。

Sberbank は 1996 年にロシア株式市場に上場し、モスクワ証券取引所第一部リストに含まれている。(普通株の米国預託証券はロンドン証券取引所およびフランクフルト証券取引所に上場しており、米国の OTC マーケットでの取引も認められている。)²⁵2017 年 5 月 2 日現在の主要株主はロシア中銀(50.00%)であり、唯一 50%以上の株式を保有している。その他は海外法人が 45.41%、国内法人が 1.90%、個人投資家が 2.69%の株式を所有しており、株主の総計は 20 万 4,000 を超える。²⁶

2) 金融市場の中での Sberbank(ロシア連邦貯蓄銀行)の競争力

Sberbank はロシア最大手の商業銀行で、約 17,000 支店をもち、国内最大級のネットワークを有し、資産は 21 兆 9,760 億ルーブルで、銀行の国内総資産の 27.4%を占めている(2016 年末)。貸出残高は 16 兆 9,440 億ルーブルで銀行の国内貸出残高の 32.1%、預金残高は 18 兆 6,840 億ルーブルで国内全体の 37.3%を占め、顧客数は 1,000 万人を超える。ロシア国内の銀行では、第二位の VTB 銀行の貸出・預金規模を大きく引き離し、国内随一の規模を誇る。

(3) VTBbank(VTB 銀行)

1) VTBbank(VTB 銀行)の特徴²⁷

1990 年 10 月 VTB 銀行は、ロシア・ソ連邦社会主義共和国国立中央銀行および

²⁴ Sberbank Annual Report 2016, 190-191 ページ

²⁵Sberbank ウェブサイト「About Us Shareholders」 <http://www.sberbank.com/about> (閲覧日 2018 年 1 月 30 日)

²⁶Sberbank ウェブサイト「Shareholder Structure」

<http://www.sberbank.com/investor-relations/share-profile/shareholder-structure> (閲覧日 2018 年 1 月 30 日)

²⁷VTB 銀行ウェブサイト <https://www.vtb.com/group/history/> (閲覧日 2018 年 1 月 26 日)

VTB 銀行ウェブサイト <https://www.vtb.com/group/strategy/> (閲覧日 2018 年 1 月 26 日)

財務省によって、ロシアの対外経済取引を行い、また国の国際経済への統合を促進するために、設立された。2002年には、ロシア連邦政府が中央銀行のVTB株式を買収し、VTB銀行の最大株主となった。2004年にはVTB銀行はGuta Bankを買収し、2005年には同行をVTB24銀行というリテール銀行に再生させた。2007年にはロシアの銀行としては初のIPOを行い、80億ドルの資金調達を行った。その後、ロシア連邦政府は2011年から2013年にかけて株式の売却を行い、株保有率を85.5%から60.93%へと引き下げ、銀行の民営化を進めた。

2016年10月に発表された2017年から2019年までの3か年計画に基づき、2018年1月にVTB銀行とVTB24銀行は合併した。この合併はVTBグループの功績向上に大きく貢献するとみられる。

なお、VTB銀行は、独立国家共同体(CIS)のアルメニア、ウクライナ、ベラルーシ、カザフスタン、アゼルバイジャンにネットワークを持つ。

2017年9月1日現在、VTB銀行はモスクワ市場(MOEX)とロンドン市場(LSE)に上場している。株式の92.2%は国が所有しており、その内訳はロシア連邦政府45.01%(連邦国家資産管理局12.13%、ロシア連邦財務省32.88%)、国家法人預金保険公社47.22%となっている。²⁸

2) 金融市場の中でのVTBbank(VTB銀行)の競争力

2016年12月31日現在、VTB銀行の総資産は12兆5880億ルーブル(国内銀行全体の15.7%)、貸出残高は8兆8,540億ルーブル(同16.8%)、預金残高7兆3,470億ルーブル(同14.7%)、リテール預金残高は3兆40億ルーブル(同12.4%)とすべて国内2位であった。

また、VTB24銀行の総資産は2兆9790億ルーブル(同3.7%)、貸出残高は2兆6,740億ルーブル(同5.1%)、預金残高2兆5,790億ルーブル(同5.1%)とすべて国内4位であった。リテール預金残高は2兆1,300億ルーブルと国内3位であった。

(4) AlfaBank(アルファ銀行)

1) AlfaBank(アルファ銀行)の特徴

アルファ銀行は1990年に創設された、法人、リテール、貸付、預金、決済サービスを扱う総合銀行である。アルファ銀行グループの本店はモスクワにあり、内外支店数は723店に上る。うち海外はオランダに子銀行、英国とキプロスに子金融機関を有する。従業員は2万3,000人、2016年末の顧客数は法人が38万1600社、個人が1,420万人である。なお、2014年同行は再建中のBaltijskiy Bankを公募入札により買収した。²⁹

2) 金融市場の中でのAlfaBank(アルファ銀行)の競争力

2016年12月31日現在、総資産は2兆2,700億ルーブル(国内銀行全体の2.8%)、貸出残高は1兆3,230億ルーブル(同2.5%)、預金残高は1兆3,720億ルーブル(同2.7%)であり、すべて国内銀行において6位を占める(VTB銀行とVTB24の合併後)。リテール預金残高は7,520億ルーブルであり、同3.1%を占める。

²⁸VTB銀行「Shareholder Structure」<https://www.vtb.com/ir/disclosure/structure/> (閲覧日2018年1月30日)

²⁹アルファ銀行ウェブサイト「About Bank」<https://alfabank.ua/en> (閲覧日2018年1月26日)

(5) Gazprombank(ガスプロム銀行)

1) Gazprombank(ガスプロム銀行)の特徴

ガスプロム銀行はガス産業企業へ金融サービスを提供するため、1990年に設立された。これまでに45,000以上の企業と400万人以上の顧客に幅広い金融・投資サービスを提供し、ホールセール・リテール双方において成長を遂げてきた。石油・ガス産業やメディア産業への戦略的投資の他、資本市場における取引、コーポレートファイナンスアドバイザー、およびプロジェクトファイナンスをけん引する立ち位置にある。現在ロシア、ベラルーシ、スイス、ルクセンブルグに6の子会社と関連銀行、カザフスタン、中国、インドに出張所を持つ。³⁰

2) 金融市場の中での Gazprombank(ガスプロム銀行)の競争力

2016年12月31日現在、総資産は4兆8790億ルーブル(国内銀行全体の6.1%)、貸出残高は3兆2,480億ルーブル(同6.1%)、預金残高は3兆3,310億ルーブル(同6.6%)であり、すべて国内銀行において3位を占める。一方でリテール預金残高は6,780億ルーブルであり、占有率は2.8%と低い。

(6) Russian Agricultural Bank(ロシア農業銀行)

1) Russian Agricultural Bank(ロシア農業銀行)の特徴

ロシア農業銀行は、ロシアの国営銀行である。株式の100%を国が所有する準政府銀行と位置づけられている。³¹ロシアの農業関連産業への融資を提供し、国家の農業振興に係る施策導入において金融機関として重要な役割を果たす、ロシアの主要金融機関の1つである。70の支店と約1,200の事務所を有し、ロシア第二位の支店ネットワークを持つ。農業関連産業に係る連邦プログラム(State Program on Agribusiness Development 2013-2020)には唯一の金融機関として参画し、2013年から2017年の間に、3.3兆ルーブルの貸付を実施している。

日本との関わりとしては、ズベルバンクと同様、JCBと提携し、ロシアにおいてJCBカードの発行及び同行の加盟店・ATMにおけるJCBカードの取扱を行う。海外では、ベラルーシ、タジキスタン、カザフスタン、アゼルバイジャン、アルメニア、中国に事務所を持つ。

2) 金融市場の中での Russian Agricultural Bank(ロシア農業銀行)の競争力

総資産、貸出残高、預金残高のいずれも、ロシア国内銀行の第5位を誇る規模である(VTB銀行とVTB24銀行合併後)。

同行はホールセールもリテールも扱っており、顧客ポートフォリオは、39%がリテールである。リテールでは、農民や農村地域の住民への貸付に特徴を持つ。例えば、給水・排水システム、電力等のエンジニア部門に係る貸付、農機を担保にした貸付等がある。

なお、2016年末で総資産2兆7,030億ルーブルで国内第五位だったアトクリティ銀行は、格付会社の格下げを受けて2017年6-7月に74億ドル預金残高が減少し

³⁰ ガスプロム銀行ウェブサイト「About Us」<http://www.gazprombank.ru/eng/about/> (閲覧日 2018年1月26日)

³¹ ロシア農業銀行ウェブサイト「About the Bank Key Investment Highlights」
https://www.rshb.ru/en/investor_relations/highlights/ (閲覧日 2018年1月30日)

たと伝えられた。これを受け、ロシア中銀は同年 8 月、システム上重要な銀行のうちの一行である同行の救済を決定、新たに銀行救済ファンドを設立し、同ファンドが同行の株式の 75% を取得、経営にも介入することとした。従来は、銀行が破たんした際は、ロシア中銀によるライセンス取消、業務停止、預金保険公社への移管、預金者への預金払い戻しという手続きが取られていたが、同行についてロシアで初めてロシア中銀によるバイルアウトが行われた。

第5章 最近の金融動向と今後の展望最近の金融動向等

1. 最近の金融動向等

(1) マイクロファイナンスなどソーシャルファイナンスの現況等

マイクロファイナンスを提供する機関については、2010年7月2日に施行された「マイクロファイナンス・マイクロファイナンス機関に関する法」(Federal Law No.151-FZ of July 2, 2010 on Microfinance and Microfinance Organization)に示されている。マイクロファイナンス機関として認められているのは、基金形式で登録された法人、独立非営利団体、機関、非営利パートナーシップ、会社またはマイクロファイナンスを行い、かつ現行連邦法で想定された手続きの中でマイクロファイナンス機関に登録されているパートナーシップ、である。³²

2017年1月1日時点で、~~2016~~年のマイクロファイナンス機関の数は2,588団体となっており、前年比29.8%減少した。マイクロファイナンス機関数の減少の主な理由は、ロシア中銀が不正かつ活動的でない団体を市場から取り除いたことと関連している。しかし、マイクロローンに対する需要は増えており、締結契約数やマイクロローンの総額は増加した。

2016年に締結された契約数は前年比67.9%増の1,900万件であり、2016年に供与されたマイクロローンの総額は同39.4%増の1,951億ルーブルであった。個人向けのマイクロローン供与が増加をけん引しており、全体セグメントの87.6%を占める。

2016年12月31日時点でマイクロファイナンス残高は881億ルーブルとなり、2015年末と比較し25.3%の増加となった。借り手数も54.9%増加して510万人となった。

33

(2) モバイルバンクの現況等

近年、キャッシュレス決済が急速に普及しており、2016年に取引されたキャッシュレス決済のうち95%が電子テクノロジーを用いたものであり、2015年と比較し3倍以上に増えている。また全取引の4分の1にあたる取引はインターネットやモバイル通信デバイスを利用した個人による取引であり、電子決済総額における20%の市場を占める。³⁴

クレジットカード支払はキャッシュレス決済方法のメインの一つであり、国民一人当たり1.7枚のカードを所有している。これは先進国と同等レベルである。³⁵

また、近年、スマートフォンを使用したモバイルバンキングが普及しており、各銀行がスマートフォン用のアプリを提供している。

³² “Federal Law No.151-FZ of July 2, 2010 on Microfinance and Microfinance Organization” <http://www.bu.edu/bucflp-fig/files/2012/01/Federal-Law-No.-151-FZ-of-2010-on-Microfinance-and-Microfinance-Organisations-English.pdf> (閲覧日：2018年1月9日)

³³ “Bank of Russia Annual Report For 2016” https://www.cbr.ru/Eng/publ/God/ar_2016_e.pdf (閲覧日：2018年1月9日)

³⁴ “Bank of Russia Annual Report For 2016” https://www.cbr.ru/Eng/publ/God/ar_2016_e.pdf (閲覧日：2018年2月6日) …II.5.2. を参照
and the national payment card system

³⁵ “Bank of Russia Annual Report For 2016” https://www.cbr.ru/Eng/publ/God/ar_2016_e.pdf (閲覧日：2018年1月9日)

例えば、ロシア最大の銀行である **Sberbank** でもアプリを提供しており、スマートフォンを通して支払や送金をすることが可能であり、これにより、**Sberbank** に行かずとも作業ができるという利点がある。同銀行のアプリはセキュリティや取引スピードにおいて他銀行と比較し優れているという。³⁶

2. 今後のポストバンクの動向³⁷

ポストバンクは引き続きその顧客基盤をより成長させ、**2023** 年には **1/3** を年金受給者で構成する **2,100** 万人の顧客数を獲得し、ロシアで顧客数トップ3の銀行になる計画である。また、依然として金融サービスが不足する地方の市町村への進出を進め、**2023** 年までには極東連邦区と北コーカサス地区を含め、合計 **26,000** か所の顧客取引拠点(郵便局及びATMを含む)を確立する。その**90%**以上が郵便局内の簡易的な窓口を通して提供される予定である。また、預金ポートフォリオを拡大し、リテール金融市場における地位を強化する方針である。

ポストバンクは事業計画の目的として決済の非現金化の推進・業務時間の短縮も挙げており、そのためにインターネットバンキングやATM、POSターミナルの整備に力を入れていくとしている。

2015 年、ポストバンク(当時の呼称：レトバンク)は顔の画像認識による生体認証システム「**LUNA PLATFORM**」(VisionLabs社製)を銀行のCRMシステムへアクセスする従業員と顧客の身分証明に利用するために導入した。このシステムはATMやパソコンに内蔵されたカメラで撮影された利用者の顔の画像データをシステムに登録された顔の画像データと比較することによって身分確認の効率化と不正行為の防止を可能にするものであり、ポストバンクは同システムを利用することによって**2016** 年度に従業員の労働時間 **15,000** 時間の削減と総額 **15** 億ルーブル相当の不正取引の未然防止を達成した。³⁸

2017 年 **3** 月に、ポストバンクは米国企業 **Diebold Nixdorf**³⁹から **3,200** 台のセルフサービスの現金リサイクルシステム(ソフトウェアとサービスを含む)の導入を発表した⁴⁰。ポストバンクは、**2018** 年末までに、**4,000** 以上の **Diebold Nixdorf** リサイクルシステムを導入し、顧客に現金サービスを提供する計画を示している。本システムのインストールと保守は、ベンダーのローカルパートナーである **Terminal Plus** が担う。

ポストバンクは **ProView** のソフトウェアを利用することにより、現金回収業機の **24** 時間監視と予防保全を行う。現金管理は、ポストバンクの重要戦略のひとつとなっている。従来のATMを廃止し、利用者がセルフサービスによりローンの交付、決済および預金を含むすべての現金取引を実現可能とする。**Diebold Nixdorf** は、**Post-Bank** の有力なITパートナーとして、今後も高度なシステムを導入し、現金処理の効率化を図

³⁶ Deloitte, “Mobile Banking on Smartphones Review of Russian banks’ mobile applications”
<https://www2.deloitte.com/content/dam/Deloitte/ru/Documents/financial-services/Mobile-banking.pdf> (閲覧日 2018年1月9日)

³⁷ <https://www.pochtabank.ru/press/362700>

³⁸ <https://www.pochtabank.ru/news/450177>

³⁹Diebold Nixdorf Incorporated は、金融業界および小売業界、セキュリティ業界において力を持つICT企業である。
「Recycle cash system」の製品概要例

(<https://www.dieboldnixdorf.com/en-us/systems/financial/cash-recyclers/cs-4040#features>)(閲覧日 2018年1月10日)

⁴⁰ <http://www.bankingtech.com/2017/03/diebold-nixdorf-in-major-deal-with-russias-post-bank/>
(2017年3月報道)(閲覧日 2018年1月10日)

る方針を示している。

2016年にポストバンクは主に下記の取組に注力した⁴¹。

- ①自社の顧客センター、郵便局、パートナー店舗、販売店を通じた庶民や小規模の顧客(マス・セグメント)層の拡大。
- ②家計の融資や貯金の利用増加。
- ③ロシアポストのオフィスでの販売窓口ネットワークの立ち上げ及び開拓
- ④年金や給与受取の口座利用者を対象としたカードのサービス拡大
- ⑤リモートバンキングチャネルを通じた売上シェアの拡大
- ⑥開発戦略に準じたネットワークシステムの最適化
- ⑦セルフサービスデバイスによるネットワークの拡大

2016年8月、同行は2023年までの戦略を公表した。主な特徴は、実店舗によるサービスとデジタルチャネルによるサービスの双方を拡大し、取引コストを削減するとしている。同時に、積極的なサービス地域拡大と個人へのチャネル拡大に焦点を当てるとしている。

同戦略によると、2023年までにロシア全土の拠点を26,000以上に拡大し、拠点数においてリーダー的存在になることを計画している。これらにはアクセスの悪い地域が含まれる。また、そのうちの90%以上は、郵便局を利用したコンパクトな拠点とすることも述べている。長期的な戦略として、下記の取組を掲げている。

図表 26：ポストバンクの今後の主な事業戦略

顧客対象	主な事業戦略
個人	<ul style="list-style-type: none"> ・「ロシア連邦年金基金」との関係強化や地方支店の開設 ・預金および貯蓄勘定、現金預金、商品ローン（POSローン）、クレジットカードおよびデビットカード、インターネットバンキング、バーチャルカードなど、国民の大半に向けたシンプルな商品とサービス ・給与払い口座としての利用や、過去に取引履歴を持つ低リスクな顧客へのローン業務の提供 ・手数料ビジネスとして、パッケージ型保険商品、法的サービスの提供、環境保護活動への参加支援等
法人	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の事業者向けに特化したサービスの提供 (住宅や共同サービスの分野の企業、インターネットコマース等) ・標準パッケージ及び追加サービスの提供 ・質の高いローンポートフォリオ（取引履歴を持つ顧客への貸出）を通じた収入確保 ・創造と開発、技術を強化し、ITシステムを活用したユニークな製品の提供、効果的な販売システムの構築と高度なリスク管理 ・ビジネスの開放性と透明性を維持し、高品質且つ手頃な金融サービス提供

(出所)ポストバンク Annual Report 2016 (p4-6)を基に作成(閲覧日 2018年1月10日)

⁴¹ 2016年アニュアルレポート https://www.pochtabank.ru/upload/images/documents/annual_report_2016.pdf (p2-4)(閲覧日 2018年1月10日)

また、金融商品以外では、郵便の物流ネットワークを利用した e コマース事業への参入が検討されている。ポストバンクに取引用の口座をもつインターネット販売業者にはポストバンクの e コマースのプラットフォームへの商品の出品にあたり、出品手数料や商品配送料の割引などの特典が付与されると考えられる。なお、報道情報によると、ロシアポストは東芝と郵便・物流システム事業における戦略的協業に関する覚書を締結しており、物流システムの一部には、同社の製品を採用している⁴²。

⁴² 東芝プレスリリース http://www.toshiba.co.jp/about/press/2016_12/pr_j1602.htm (2016 年 12 月)、
<https://www.toshiba.co.jp/cs/topics/back-number9/20170907.htm> (2017 年 9 月 7 日) (閲覧日 2018 年 1 月 10 日)

< 出所資料一覧 >

【国際機関・外国機関文献・データベース】

- ・ IMF”World Economic Outlook, October 2017

【中央銀行・監督官庁・銀行協会等 HP】

- ・ ロシア連邦政府「FEDERAL LAW On the Central Bank of the Russian Federation (Bank of Russia)」
- ・ ロシア中銀ウェブサイト
- ・ ロシア中銀発表資料
- ・ ロシア中銀「アニュアルレポート」
- ・ ロシア中銀金融市場・金融機関規制・監督委員会
- ・ ロシア預金保険公社ウェブサイト
- ・ ロシア預金保険公社「About DIA」
- ・ ロシア預金保険公社「The Russian Federation federal law on insurance of household deposits in banks of the Russian Federation」
- ・ ロシア国家統計局「ロシアの金融 2016」(ロシア語)
- ・ Banki.ru「銀行の格付け」(ロシア語)

【論文・雑誌・業界紙】

- ・ 今井 雅和 「ロシアの銀行セクターと個人向けローンビジネス」
- ・ 中村 靖 「帝政ロシア・ソ連・現代ロシアの金融統計の発展」
- ・ 黒坂 昭一 「ロシアの金融とリスク管理」
- ・ Ernst&Young 「ロシア税率一覧 2017」
- ・ 「今日のロシア連邦の銀行制度」 Современная банковская система Российской Федерации

【郵政公社・郵貯等】

- ・ ロシアポストウェブサイト
- ・ ロシアポスト「アニュアルレポート(2016年)(ロシア語)」

【民間金融機関等 HP】

- ・ Sberbank(ロシア連邦貯蓄銀行)ウェブサイト
- ・ VTB 銀行ウェブサイト
- ・ ガスプロム銀行ウェブサイト
- ・ アクトリティ銀行ウェブサイト
- ・ ロシア農業銀行ウェブサイト
- ・ アルファ銀行ウェブサイト
- ・ クレジット・バンク・オブ・モスクワウェブサイト
- ・ ブロムスバージバンクウェブサイト
- ・ ロシア・ユニクレディット銀行ウェブサイト